

パーソナル ナビゲーションシステム

取扱説明書 安全のために

お買上げいただきありがとうございます。

△警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

nav-u

© 2007 Sony Corporation Printed in Thailand

困ったときは

nav-u 関連のホームページ（下記 URL）でお調べください。

<http://www.sony.jp/products/me/>

「よくあるご質問（Q&A）」は、上記 URL の「サポート」からご確認いただけます。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは ホームページをご活用ください。	http://www.sony.co.jp/support
使い方相談窓口 フリーダイヤル···0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話···0466-31-2511	左記番号へ接続後、 最初のガイダンスが 流れている間に 「307」+「#」
修理相談窓口 フリーダイヤル···0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話···0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	を押してください。 直接、担当窓口へ おつなぎします。
FAX（共通）0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00	

△警告 安全のために

本機はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより、人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

本書および別冊の説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 運転中に画面を注視しない。
自動車の運転中にナビゲーションシステムの画面を凝視することは法律により制限されています。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- 案内音声がしたとき、急な運転操作を行わない。
- ナビゲーションでのルート案内時も、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ①安全な場所に車を停める。
- ②電源を切る。
- ③お買上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

警告表示の意味

本書および別冊の説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



△警告 火災 感電 下記の注意を守らないと
火災・感電により死亡や
大けがの原因となります。

正しく取り付ける

本機をご自分で取り付けるときは別冊の「取付接続編」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

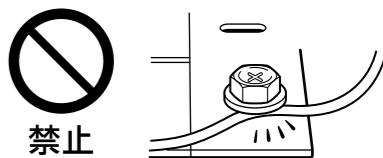


指示

運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

事故や感電、火災の原因となります。次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。



指示

法令に従って、前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



禁止

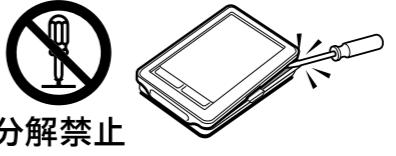
エアバックの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。



分解や改造をしない（廃棄時を除く）

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止

本体をダッシュボードに放置しない

ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置すると、電池の液漏れ、破裂によりけがの原因となります。



裏面へつづく →



下記の注意を守らないと
**火災・感電により死亡や
大けがの原因となります。**

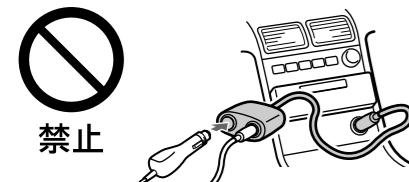
運転者はヘッドホンを使用しない

運転者は運転中にヘッドホンを絶対に使用しないでください。事故やけがの原因となります。



タコ足配線はしない

二又ソケットなどを利用したタコ足配線から電源を取ると配線が加熱し、火災や感電の原因となります。



シガープラグやACアダプターに水などをかけない

水などがかかると火災や感電の原因となります。万一、水などがかかったときは、すぐにプラグを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



シガープラグは確実に挿入する

奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと異常発熱して火災などの原因となります。また、シガープラグを差し込むときや抜くときは、イグニッションスイッチをOFFにしてください。



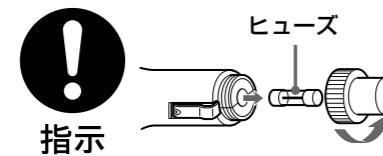
シガーライターソケットを点検・清掃する

シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。シガープラグが発熱すると、火災などの原因となります。



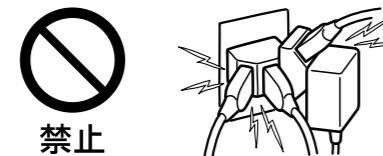
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



タコ足配線をしない

配線器具をタコ足配線して定格を超えた電流が流れると、火災などの原因となります。



指定のACアダプターやシガーライターソケット以外は使用しない

火災や感電の原因となります。



電源プラグは定期的に手入れをする

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまつて湿気を吸うと、ショートして、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、定期的にゴミやほこりを取ってください。



下記の注意を守らないとけがをしたり
自動車や周辺の物品に損害を与えることがあります。

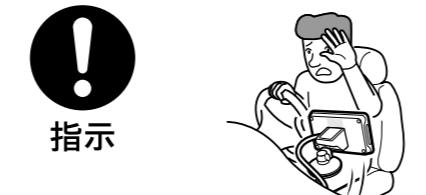
本体を確実に取り付ける

本体を確実にクレードルに取り付けないと、落ちるなどして、事故やけがの原因となることがあります。取り付け後は、確実に取り付けられていることを確認してください。



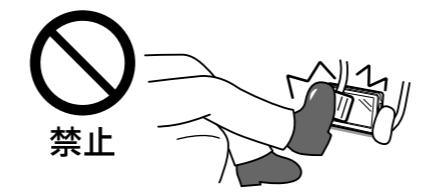
クレードルを確実に取り付ける

クレードルを付属の説明書の説明に従って、確実にダッシュボードに取り付けないと、落ちるなどして、事故やけがの原因となることがあります。



本体はクレードル以外に置かない

本体がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やけがの原因となることがあります。



ヘッドホンで大音量を長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンで耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやUSBケーブル、本体に触れない

感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないとけがをしたり
自動車や周辺の物品に損害を与えることがあります。

通電中の本体やACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

ACアダプターコードや電源コードをACアダプターに巻き付けない

断線して火災の原因となることがあります。



禁止



危険

- 電池を水・海水・しょうゆなどで濡らさない。
- ストーブなどの熱源のそばに放置しない。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池に強い衝撃を与えること、投げつけたりしない。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。



警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電子レンジや高圧容器に入れない。
- 所定の充電時間を超えて充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 液漏れ、異臭、発熱、変色、変形があるときは使用しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、すぐに医師の治療を受ける。



注意

- 許容温度範囲内で充電する。
- 直射日光の強いところ、炎天下の車内など、高温になる場所に放置しない。
- 静電気（メーカーが保証する値以上）が発生する場所で使用しない。
- 初めて使用の場合に、異臭、発熱などの異常があるときは、使用しないでお買い上げ店に相談する。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。